ウィステリアデータ移行のしかた

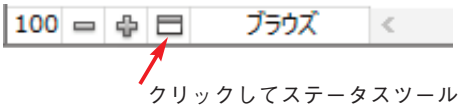
旧バージョンのウィステリアデータをウィステリア 5.0 で使用するために

❍ 準 備

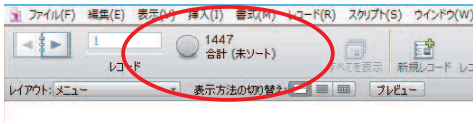
1　今までご使用の**《ウィステリア》のバックアップ**を作成します．外付ハードディスクやメディア（DVD-R，CD-R 等）にバックアップします．

㊟ 同一ハードディスク内にバックアップしないでください．正しくリレーションされなくなる場合があります．

2a　使用中の《ウィステリア》を開き，左下ステータスエリアコントロールからステータスツールバーを表示します．全レコードを表示して，レコード数を控えます．



クリックしてステータスツールバーを表示させます．

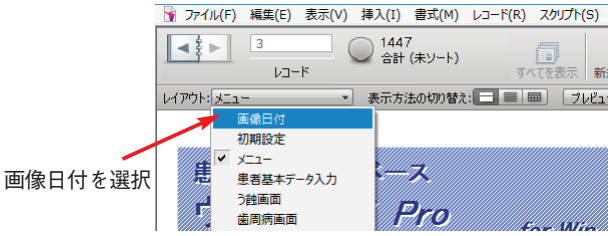


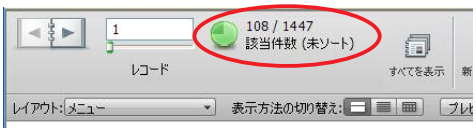
全てのレコードを表示し，レコード数を控える

2b　「レイアウト：メニュー」をクリックして「画像日付」を選択します．全レコードを表示してレコード数を控えます．

確認後，ファイルを閉じます．

㊟ ファイルは必ず閉じてください．ファイルが開いているとデータがすべてインポートされない場合があります．





検索されて一部のデータが表示されている．この状態でファイルが開いてると該当データのみインポートされます



全てのレコードを表示し，レコード数を控える

3　ご使用中のウィステリアのバージョンによってデータの移行作業が異なります．

該当する作業手順をご参照ください．

A ウィステリア **4.0** から　（**2** ページへ）

B ウィステリア **3.1.1** から　（**5** ページへ）

C ウィステリア **3.0.2** から　（**6** ページへ）

D ウィステリア **3.1** から　（**8** ページへ）

PerioAssistant2 を **PerioAssistant5** にコンバートする（**9** ページへ）

E ウィステリア **3.0** から　（**11** ページへ）

PerioAssistant2 を **PerioAssistant5** にコンバートする（**9** ページへ）

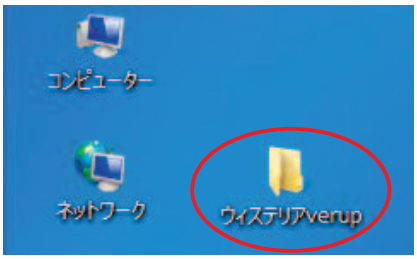
F ウィステリア **2.2** 以下から　（**12** ページへ）

ご使用の環境によっては拡張子が表示されません．変換作業中は，表示されることをお勧めします．

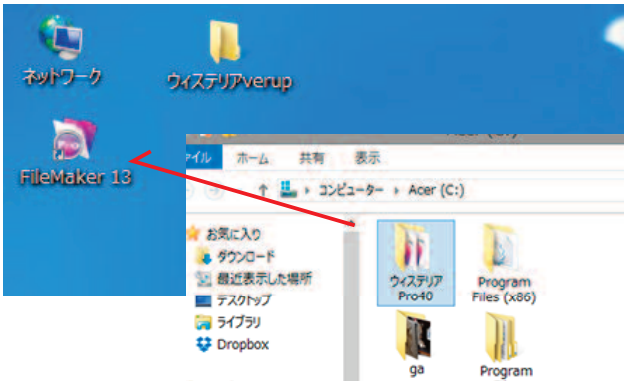
旧バージョンの《ウィステリア》に，ご自身でカスタマイズを加えていたものについては，インポートされません．ご注意ください．

A ウィステリア Pro4.0 から

❑ ウィステリア Pro4.0 のデータを変換する

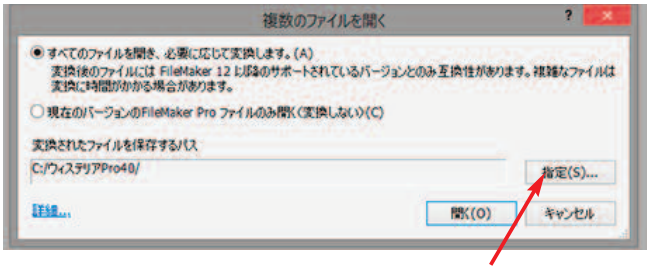


a-1 ご使用中の《ウィステリア 4.0》（FileMaker Pro8.5-11 ・拡張子.fp7）を FileMaker Pro13/12 のファイル形式（拡張子.fmp12）に変換します.
変換先のフォルダを先に作成します．ここでは，デスクトップに「ウィステリア verup」という名前で作成しています.

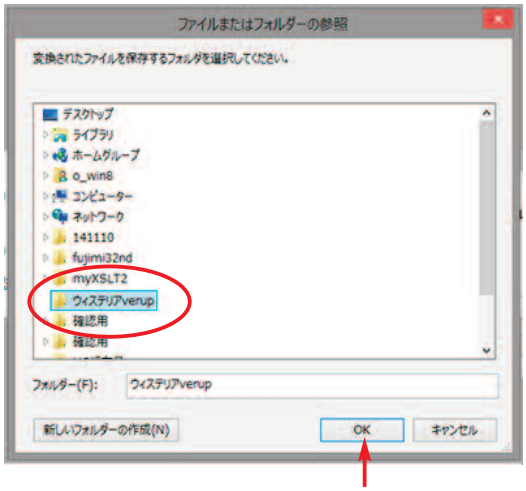


a-2 《ウィステリア 4.0》をフォルダごとドラッグして FileMaer Pro13 のアイコンに重ねます.

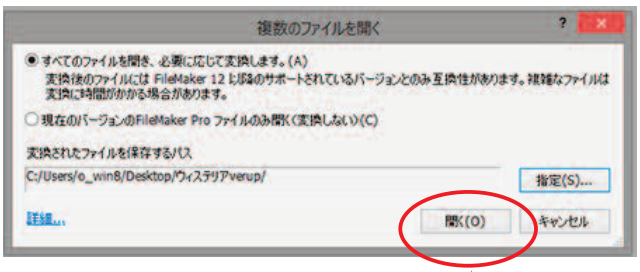
a-3 「複数のファイルを開く」ダイアログボックスが表示されますので，［指定］をクリックし，「フォルダの参照」から **a-1** で作成したフォルダを指定します．［開く］をクリックして，ファイル変換を実行します．ファイル変換には数分の時間がかかります（ご使用の環境により異なります）.
ファイル変換終了後ファイルが開きますので，すべて閉じます.



ここをクリック



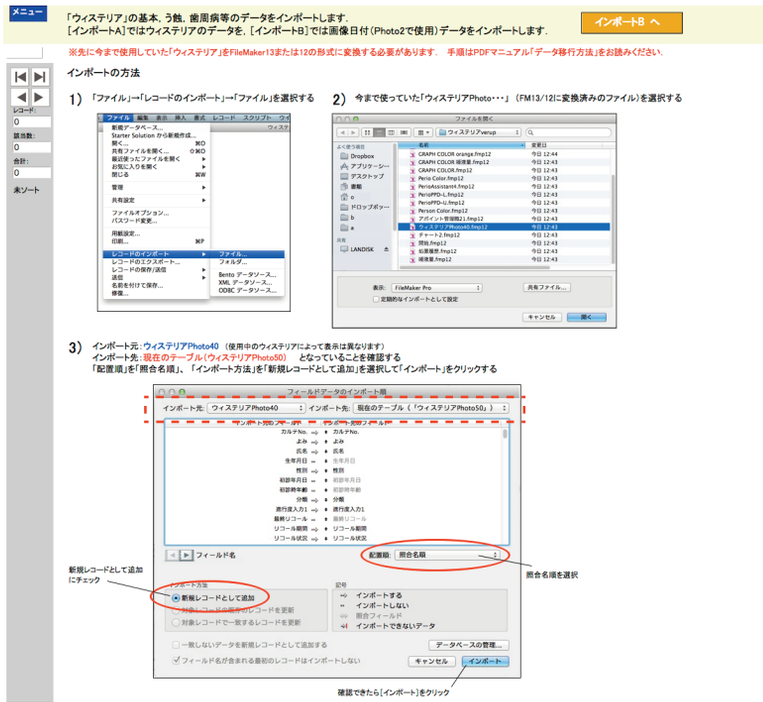
デスクトップに作成したフォルダを選択して［OK］



保存先が指定したフォルダになったことを確認して，［開く］をクリック

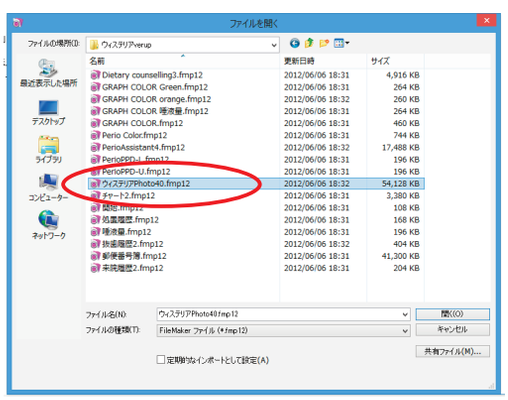
❑ ウィステリア Pro5.0 にインポートする

㊟ ウィステリアファイル“ウィステリア Photo40”からのデータの移行は，う蝕，歯周病などのデータのインポート［インポート A］と Photo2 で取り込んだ画像日付データのインポート［インポート B］を行う必要があります．



α-4 《ウィステリア 5.0》を立ち上げ，メニュー画面の［インポート A］ボタンをクリックします．インポートの方法が表示されますので，参照のうえ，「ファイル」→「レコードのインポート」→「ファイル」を選択します．

ファイルを開くダイアログが表示されますので，**α-3** で変換した「ウィステリア verup」フォルダ内の“ウィステリア Photo40.fmp12”を選択し，開きます．



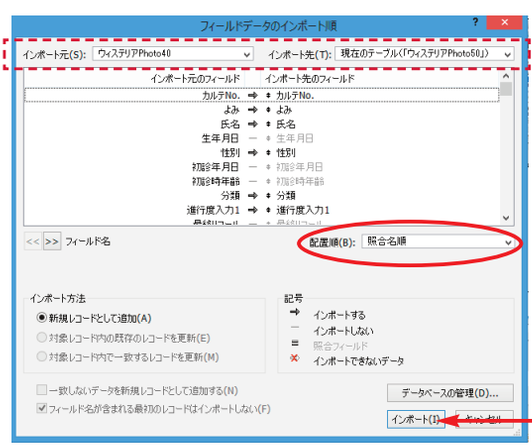
α-5 フィールドデータのインポート順ダイアログが表示されます．

インポート元：ウィステリア Photo40

インポート先：現在のテーブル（ウィステリア Photo50）

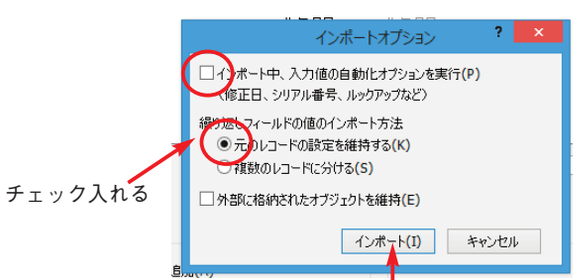
となっていることを確認し，**配置順**を「照合名順」にします．

インポート方法の「**新規レコードとして追加**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．

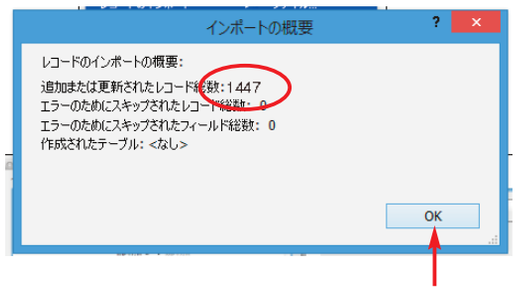


α-6 インポートオプションダイアログが表示されます．

「**インポート中、入力値の自動化オプションを実行**」のチェックが入っていたら，**チェックを外し**，「**元のレコードの設定を維持する**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします

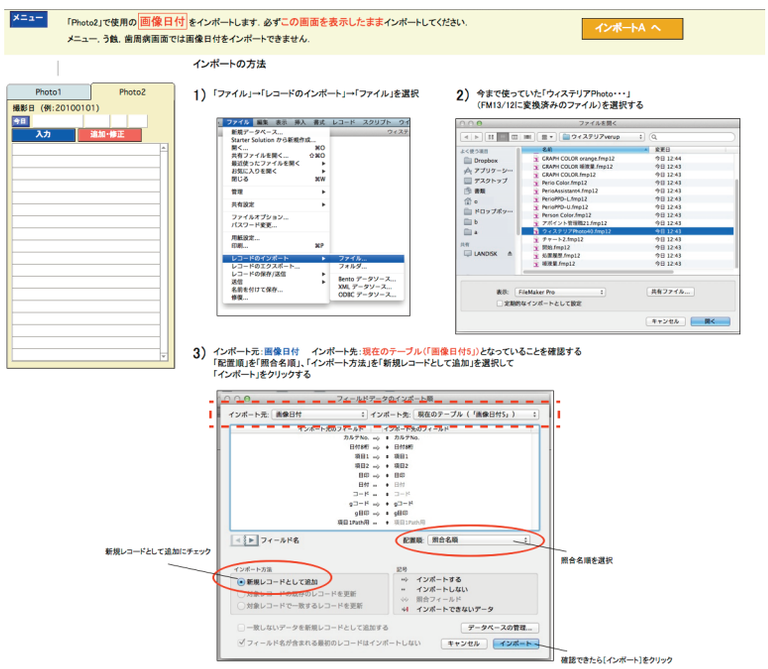


インポートが終了すると「インポートの概要」ダイアログが表示されますので，レコード数を確認します．［OK］してインポートは終了です．



a-7 ［インポート B へ］ボタンをクリックします．ここでは Photo2 の画像日付をインポートします．

注 ［インポート B］画面では画像日付（Photo2 で使用）のデータをインポートします．
必ずこの画面を表示した状態でインポートしてください．
メニュー，う蝕，歯周病画面等では画像日付をインポートできません．



a-4 と同様に「ファイル」→「レコードのインポート」→「ファイル」を選択します．ファイルを開くダイアログが表示されますので，**a-3** で変換した「ウィステリア verup」フォルダ内の“ウィステリア Photo40.fmp12”を選択し，開きます．

a-8 フィールドデータのインポート順ダイアログが表示されます．

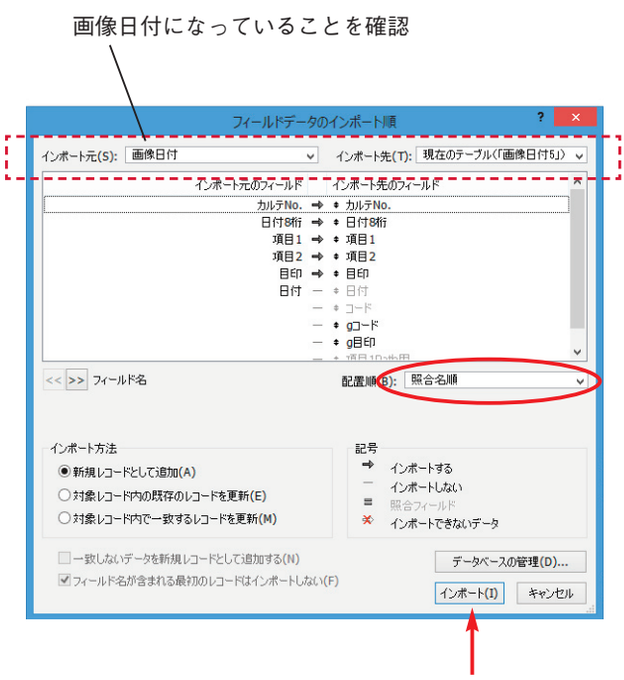
インポート元：画像日付

インポート先：現在のテーブル（画像日付 5）

となっていることを確認し，配置順を「照合名順」にします．

インポート方法の「新規レコードとして追加」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．

写真の取り込みをご使用になっていない場合および Photo1 をご使用の場合はこの作業は不要です．



a-9 同様に以下のファイル（ウィステリア 5.0 フォルダ内）をそれぞれ開き，インポートします．

・処置履歴 5.fmp12　・唾液量 5.fmp12　・抜歯履歴 5.fmp12　・来院履歴 5.fmp12　・ PerioAssistant5.fmp12

・アポイント管理職 30.fmp12 ・ Person Color.fmp12（アポイント管理職をご使用の場合）

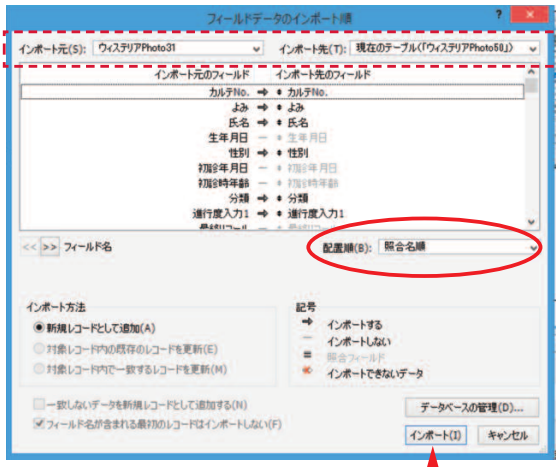
B ウィステリア Pro3.1.1 から

❑ Pro3.1.1 のデータを変換する



b-1 ご使用中の《ウィステリア 3.1.1》（FileMaker 8.5-11 拡張子.fp7）をファイルメーカー Pro13 のファイル形式（拡張子.fmp12）に変換します．変換手順はウィステリア 4.0 からの作業と同じです．a-1 ～ a-3（2 ページ）をご参照ください．

❑ ウィステリア Pro5.0 にインポートする



b-2 《ウィステリア 5.0》を立ち上げ，メニュー画面の［インポート A］のボタンをクリックします．インポートの方法が表示されますので，参照のうえ，「ファイル」→「レコードのインポート」→「ファイル」を選択します．

ダイアログが表示されましたら，a-3 でコンバートした「ウィステリア verup」フォルダ内の“ウィステリア Photo31.fmp12”を選択し，開きます．

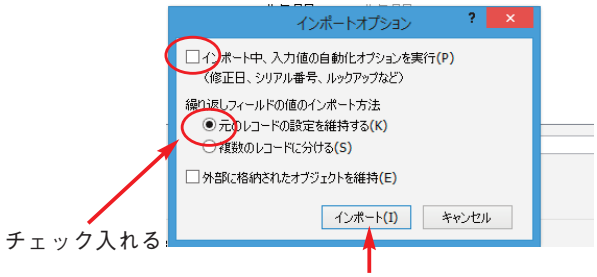
b-3 フィールドデータのインポート順ダイアログが表示されます．

インポート元：ウィステリア Photo31

インポート先：現在のテーブル（ウィステリア Photo50）

となっていることを確認し，配置順を「**照合名順**」にします．

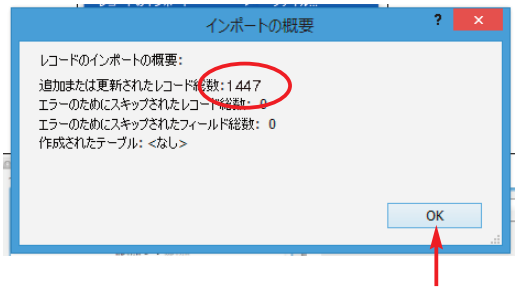
インポート方法の「**新規レコードとして追加**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．



b-4 インポートオプションダイアログが表示されます．

「インポート中、入力値の自動化オプションを実行」のチェックを外し，

「元のレコードの設定を維持する」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします



インポートが終了すると「インポートの概要」ダイアログが表示されますので，レコード数を確認します．［OK］してインポートは終了です．

b-5 同様に以下のファイル（ウィステリア 5.0 フォルダ内）をそれぞれ開き，インポートします．

・処置履歴 5.fmp12　・唾液量 5.fmp12

・抜歯履歴 5.fmp12　・来院履歴 5.fmp12　・ PerioAssistant5.fmp12

・アポイント管理職 30.fmp12 ・ Person Color.fmp12（アポイント管理職をご使用の場合）

C ウィステリア Pro3.0.2 から

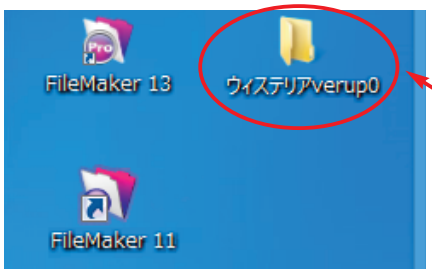
❑ Pro3.0.2 のデータを変換する．（変換は 2 段階必要）

※ファイルメーカー Pro5/6 のファイル（.fp5）は FileMaker Pro13/12 のファイル形式（.fmp12）にする前に，FileMaker Pro8.5-11 の形式（.fp7）にする必要があります．

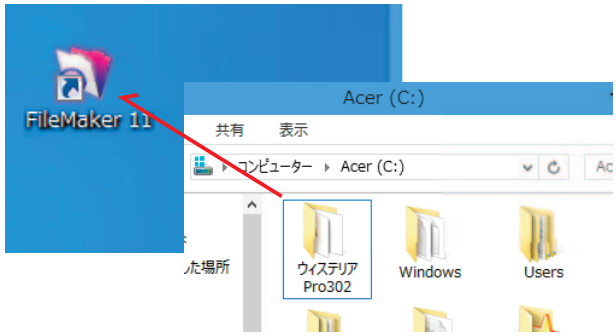
※ FileMaker Pro11 をお持ちでない場合は，ファイルメーカー社サイトより評価版をダウンロード可能です．評価版は 30 日間使用できます．（http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/10754）

c-1 まず，今までご使用の《ウィステリア 3.0.2》（ファイルメーカー Pro5/6　拡張子.fp5）を FileMaker Pro11（8.5-11　拡張子.fp7）のファイル形式に変換します．

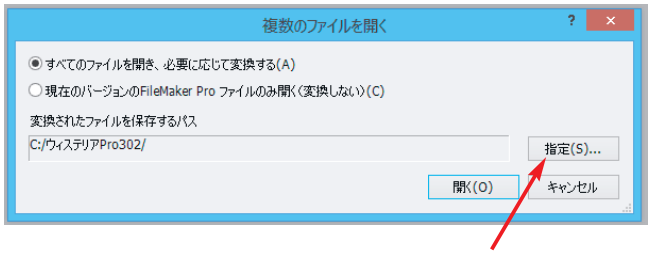
変換先のフォルダを先に作成します．ここでは，デスクトップに「ウィステリア verup0」という名前で作成しています．

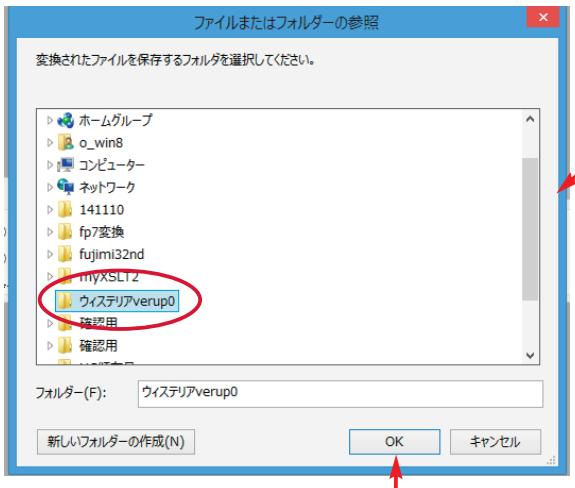


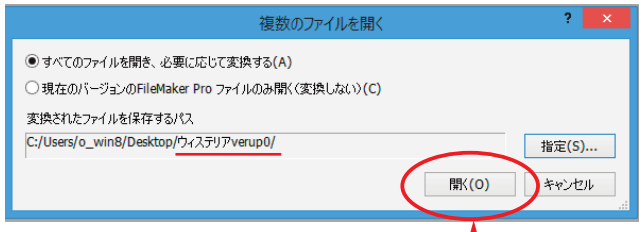
c-2 《ウィステリア 3.0.2》をフォルダごとドラッグして FileMaker Pro11 のアイコンに重ねます．



c-3 「複数のファイルを開く」ダイアログボックスが表示されますので，［指定］をクリックし，「フォルダの参照」から **c-1** で作成した「ウィステリア verup0」フォルダを指定します．



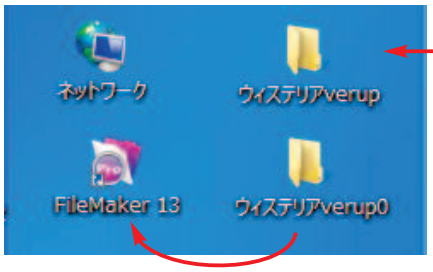




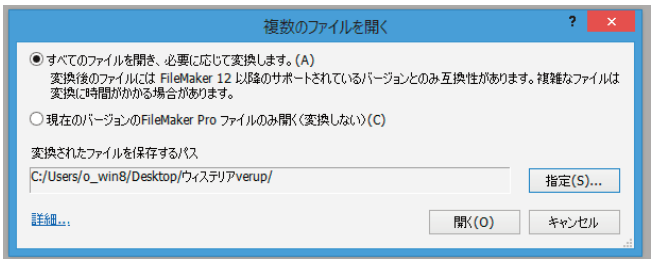
［開く］をクリックして，ファイル変換を実行します．ファイル変換には数分の時間がかかります（ご使用の環境により異なります）．

ファイル変換終了後ファイルが開きますので，すべて閉じます．

c-4 次に，FileMaker Pro13 の形式に変換します．
さきほどと同様に変換先のフォルダを作成します．
ここでは，デスクトップに「ウィステリア verup」という名前で作成しています．



c-5 c-3 で変換した「ウィステリア verup0」のフォルダを，FileMaker Pro13 のアイコンへドラッグして重ねます．複数ファイルを開くダイアログが表示されましたら，［指定］をクリックし，「フォルダの参照」から c-4 で作成した「ウィステリア verup」フォルダを指定します．
［開く］をクリックして，ファイル変換を実行します．ファイル変換には数分の時間がかかります（ご使用の環境により異なります）．
ファイル変換終了後ファイルが開きますので，すべて閉じます．



❑ ウィステリア Pro5.0 にデータをインポートする

c-6 《ウィステリア 5.0》を立ち上げ，メニュー画面の［インポート A］のボタンをクリックします．インポートの方法が表示されますので，参照のうえ，「ファイル」→「レコードのインポート」→「ファイル」を選択します．
ダイアログが表示されましたら，c-5 でコンバートした「ウィステリア verup」フォルダ内の“ウィステリア Photo30.fmp12”を選択し，開きます．（ここからの作業はウィステリア 4.0/3.1.1 と同様です）

c-7 フィールドデータのインポート順ダイアログが表示されます．
インポート元：ウィステリア Photo30
インポート先：現在のテーブル（ウィステリア Photo50）
となっていることを確認し，配置順を「**照合名順**」にします．
インポート方法の「**新規レコードとして追加**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．

c-8 インポートオプションダイアログが表示されます．
「**インポート中、入力値の自動化オプションを実行**」のチェックを外し，
「**元のレコードの設定を維持する**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします

インポートが終了すると「インポートの概要」ダイアログが表示されますので，レコード数を確認します．［OK］してインポートは終了です．

c-9 同様に以下のファイル（ウィステリア 5.0 フォルダ内）をそれぞれ開き，インポートします．
・処置履歴 5.fmp12　・唾液量 5.fmp12
・抜歯履歴 5.fmp12　・来院履歴 5.fmp12　・ PerioAssistant5.fmp12
・アポイント管理職 30.fmp12 ・ Person Color.fmp12（アポイント管理職をご使用の場合）

D ウィステリア Pro3.1 から

❑ Pro3.1 のデータを変換する

d-1 最初に，ご使用中の《ウィステリア 3.1》（FileMaker 8.5-11　拡張子.fp7）を FileMaker Pro13/12 のファイル形式（拡張子.fmp12）に変換します．変換手順はウィステリア 4.0 からの作業と同じです．a-1 ～ a-3（2 ページ）をご参照ください．

❑ ウィステリア Pro5.0 にインポートする

d-2 《ウィステリア 5.0》を立ち上げ，「ファイル」→「レコードのインポート」→「ファイル」を選択します．ファイルを開くダイアログが表示されますので，a-3 でコンバートした“ウィステリア verup”フォルダ内の「ウィステリア Photo31.fmp12」を選択し，開きます．



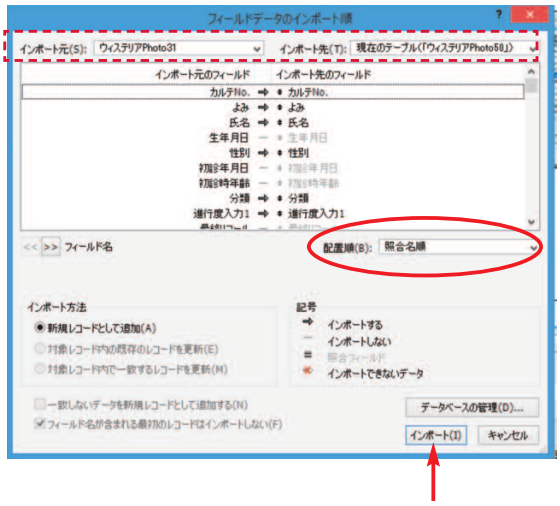
d-3 のインポート順ダイアログボックスが表示されます．

インポート元：ウィステリア Photo31

インポート先：現在のテーブル（ウィステリア Photo50）

となっていることを確認し，**配置順**を「照合名順」にします．

インポート方法の「新規レコードとして追加」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．

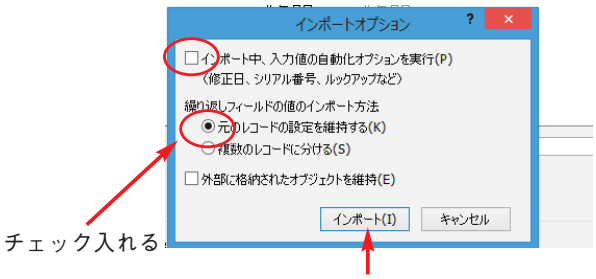


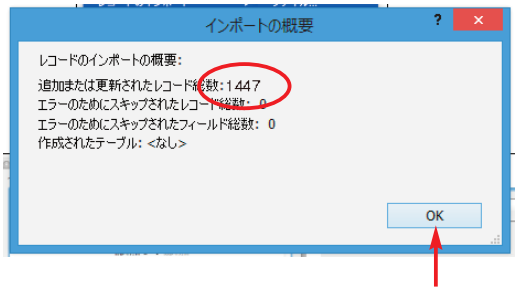
d-4 インポートオプションダイアログが表示されます．

「インポート中、入力値の自動化オプションを実行」のチェックを外し，

「元のレコードの設定を維持する」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします

インポートが終了すると「インポートの概要」ダイアログが表示されますので，レコード数を確認します．［OK］してインポートは終了です．





d-5 同様に以下のファイル（ウィステリア 5.0 フォルダ内）をそれぞれ開き，インポートします．

・処置履歴 5.fmp12　・唾液量 5.fmp12

・抜歯履歴 5.fmp12　・来院履歴 5.fmp12

・アポイント管理職 30.fmp12 ・ Person Color.fmp12

（アポイント管理職をご使用の場合）

PerioAssistant2 は PerioAssistant5 に直接，データをインポートできません．CD-ROM に同梱の“PA コンバート用”ファイルを使用します（詳細 9 ページ）．

❑ PerioAssistant2 を PerioAssistant5 にインポートする

PerioAssistant2 は入力方法が 4 点から 6 点へ変更されました．そのため，データ変更用のコンバートファイルを使用します．**PerioAssistant2 から PerioAssistant5 へ直接インポートはできません**ので，ご注意ください．コンバートの手順は，

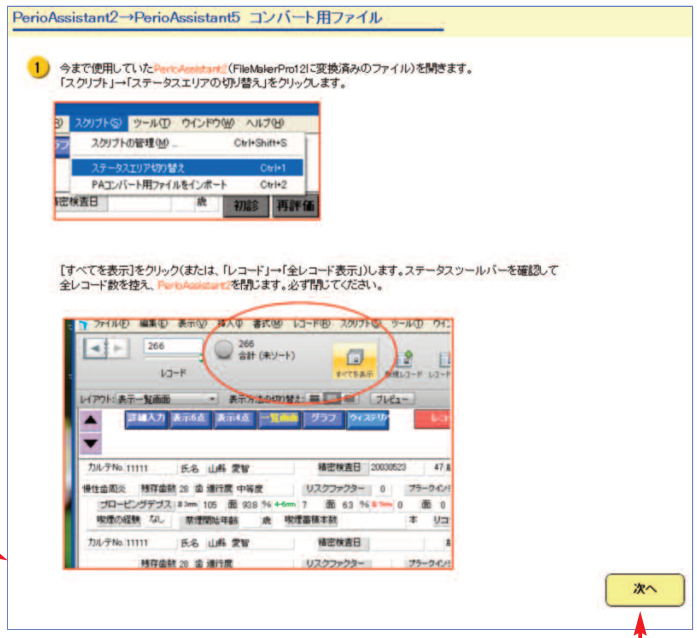
〈d-6〉PerioAssistant2 のデータを“PA コンバート用”ファイルに移す（インポート）
〈d-9〉PerioAssistant5 に〈d-6〉の“PA コンバート用”ファイルデータをインポートする

となります．

d-6 PerioAssistant2 のデータを“PA コンバート用.fmp12”ファイルへ移します．
CD-Rom に同梱の“PA コンバート用.fmp12”をパソコンの任意の場所にコピーします（例：デスクトップ）．
FileMaker Pro13 を立ちあげ，“PA コンバート用.fmp12”を開きます．初めて作業される場合は，［手順説明へ］ボタンをクリックし，コンバート手順を確認します．手順説明は 3 ページあります．［次へ］ボタンで読み進んでください．



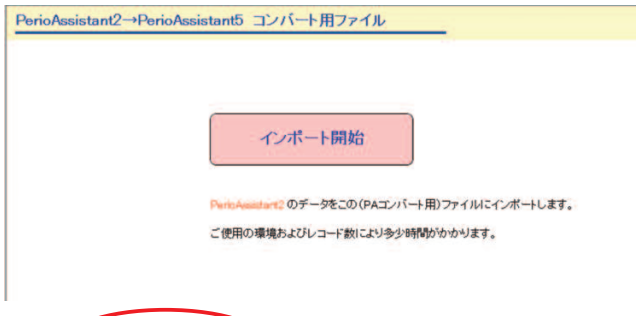
手順の説明を開始します．最初に必ずお読みください．



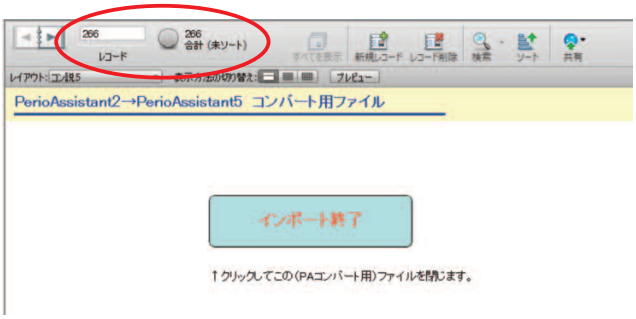
クリックして進みます．３ページ目に説明終了ボタンが表示されます

注 ［次へ］のボタンは画面の一番下にあります．画面を下へスクロールして読み進んでください（マウスホイールで画面スクロールできない場合があります）．

d-7 既に手順を理解されている場合は，［説明を省略］ボタンをクリックします．
説明終了後，または［説明を省略］ボタンをクリックすると，［インポート開始］ボタンが表示されます．ボタンをクリックしてインポートを開始します（手順説明の通り操作します）．

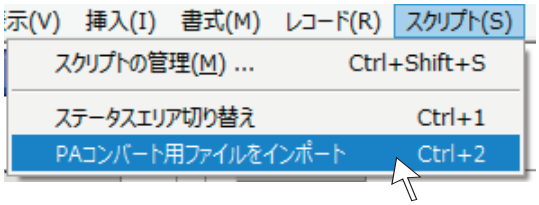


d-8 インポート終了後，終了画面が表示されますので，レコード数を確認し，［インポート終了］ボタンをクリックして，“PA コンバート用”ファイルを閉じます．

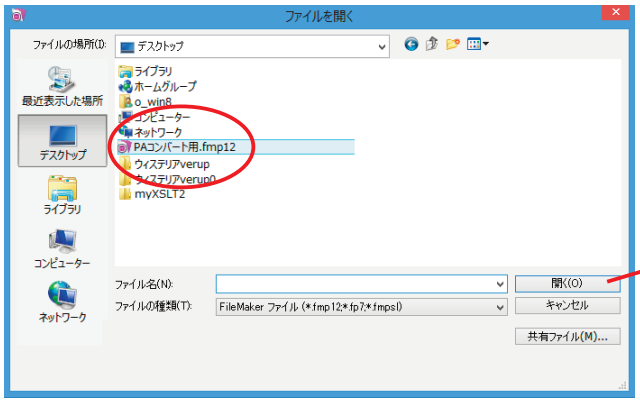


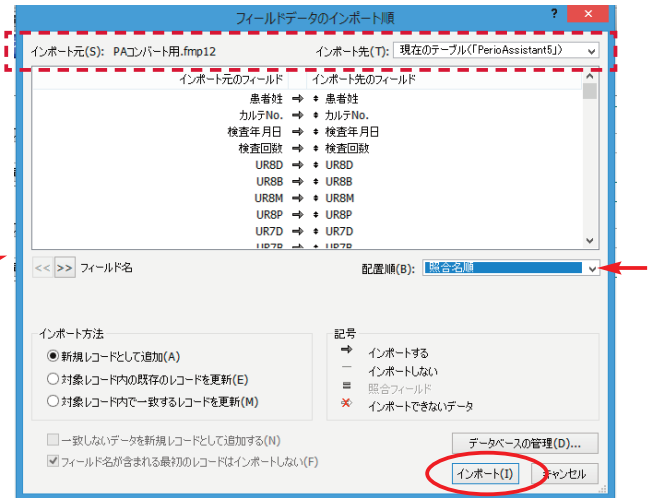
❑ PerioAssistant5 に“PA コンバート用.fmp12”ファイルのデータをインポートする

d-9 新しい“PerioAssistant5.fmp12”を開きます．メニューバー「スクリプト」→「PA コンバート用ファイルをインポート」を選択します．「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので，“PA コンバート用.fmp12”を開きます．

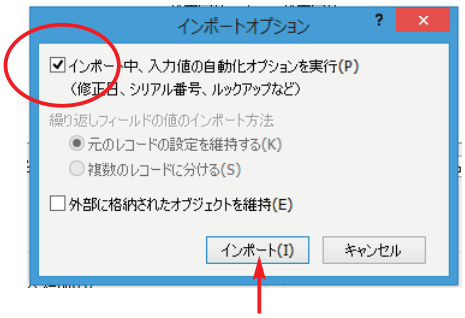


「フィールドデータのインポート順」ダイアログが表示されますので，**インポート元：** PA コンバート用.fmp12
インポート先：現在のテーブル（「PerioAssistant5」）
となっていることを確認し，配置順を「**照合名順**」にします．



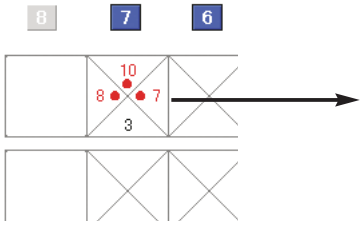


インポート方法の「**新規レコードとして追加**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．
「インポートオプション」が表示されます．チェックが入っていることを確認して［インポート］します．

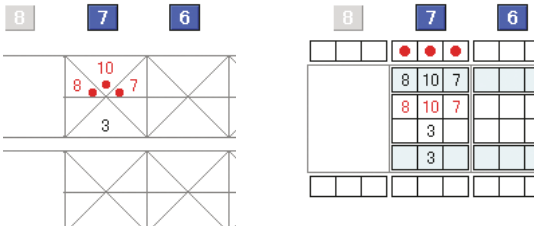


インポートが終了すると，〈一覧表示〉画面が表示されます．ステータスツールバーのレコード数がPerioAssistant2 と同じになっていることを確認してください．
インポート終了後，“PA コンバート用.fmp12”ファイルは**削除**します．
なお，変換後の表示は下のようになります．

4 点法で入力したときの〈表示〉画面



6 点法に変換した〈表示 6 点〉画面と〈詳細入力〉画面



E ウィステリア Pro3.0 から

e-1 今まで使用中の《ウィステリア 3.0》にユーザーパスワードが設定されている場合は，これを削除します．パスワードが有効なまま FileMakerPro13/12 にアップしますとアクセスできなくなることがあります．

【パスワードの削除方法】

① ファイルメーカー Pro6 でウィステリアを開きます．

② メニューバー「ファイル」から「アクセス権」→「パスワード定義」を選びます．

③ パスワード定義のダイアログボックスが開きますので，左窓内のパスワード「user」（初期設定の場合）を選択反転し，［削除］します．左窓内が空欄になったことを確かめてから［終了］します．

注 パスワード欄に「*」が入っていることがあります．この場合も削除してください．パスワードが定義されていない場合はこの作業は不要です

e-2 《ウィステリア》のファイル名を確認します．

“ウィステリア Photo3.0.fp5”となっていましたら，“ウィステリア Photo30.fp5”に変更します．

注 2004 年 6 月以前に購入された方はご注意ください．

e-3 以下の手順はウィステリア 3.0.2 からとほぼ同じです．c-1 ～ c-8（6 ページ）を参照してデータをインポートします．

e-4 同様に以下のファイル（ウィステリア 5.0 フォルダ内）をそれぞれ開き，インポートします．

・処置履歴 5.fmp12 ・唾液量 5.fmp12

・抜歯履歴 5.fmp12 ・来院履歴 5.fmp12

・アポイント管理職 30.fmp12 ・ Person Color.fmp12（アポイント管理職をご使用の場合）

e-5 PerioAssistant2 は PerioAssistant5 に直接インポートできません．

d-6 ～ d-9（9 ページ）をご参照のうえ，データをコンバートしてください．

PerioAssistant2 は PerioAssistant5 に直接，データをインポートできません．CD-ROM に同梱の“PA コンバート用”ファイルを使用します（詳細 9 ページ）．

F ウィステリア Pro2.2 以下から

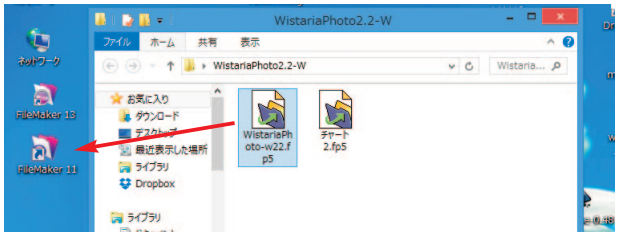
f-1 今まで使用中の《ウィステリア》のファイル名を変更します.

“wistariaPhoto2.2-w.fp5” の 2.2 から「.」を削除し，“wistariaPhoto22-w.fp5” とします.

ファイルメーカー Pro5/6 のファイル（.fp5）は FileMaker Pro13 のファイル形式（.fmp12）にする前に，FileMaker Pro8.5/9/11 の形式（.fp7）にする必要があります.

※ FileMaker Pro11 をお持ちでない場合は，ファイルメーカー社サイトより評価版をダウンロード可能です．評価版は 30 日間使用できます．（http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/10754）

f-2 “WistariaPhoto-w22.fp5” を FileMaker Pro11 のアイコンに重ねます.



f-3 「WistariaPhoto-w22」の変換のダイアログが表示されますので，［OK］します.

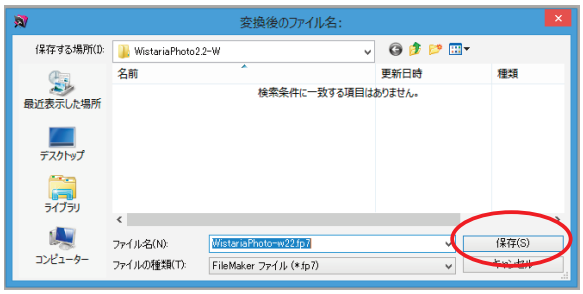


f-4 「変換後のファイル名」が表示されます.

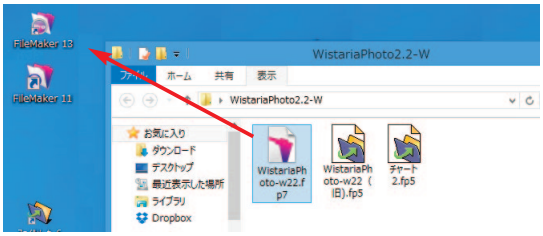
保存先を指定（例では WistariaPhoto-W フォルダ）して［保存］をクリックします.

FileMaker Pro11 の形式に変換されましたら，「WistariaPhoto-w22.fp7」を閉じます.

㊟ ファイルは必ず閉じてください．ファイルが開いていると，データがすべてインポートされない場合があります.



f-5 同様に FileMaker Pro13 の形式に変換します．さきほど変換したファイル “WistariaPhoto-w22.fp7” を FileMaker Pro13 のアイコンに重ね，ダイアログに従って保存します.

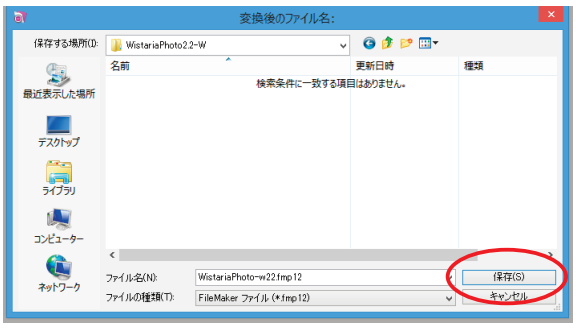


❑ ウィステリア Pro5.0 にインポートする

《ウィステリア 5.0》を立ち上げ，「ファイル」→「レコードのインポート」→「ファイル」を選択します．ファイルを開くダイアログが表示されますので，f-5 で変換した “WistariaPhoto-w22.fmp12” を選択し，開きます.

㊟ “チャート 2.fmp12” が見つかりませんというダイアログが表示された場合は［OK］→［キャンセル］をしてください





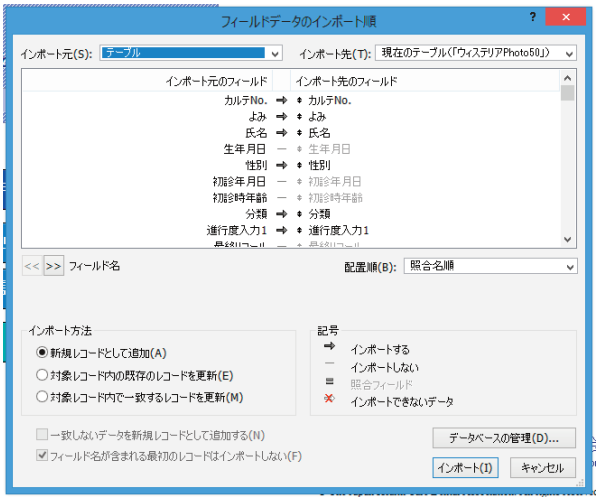
f-6　「フィールドデータのインポート順」ダイアログが表示されましたら，

インポート元：テーブル

インポート先：現在のテーブル（ウィステリア Photo50）

となっていることを確認し，配置順を「**照合名順**」にします．

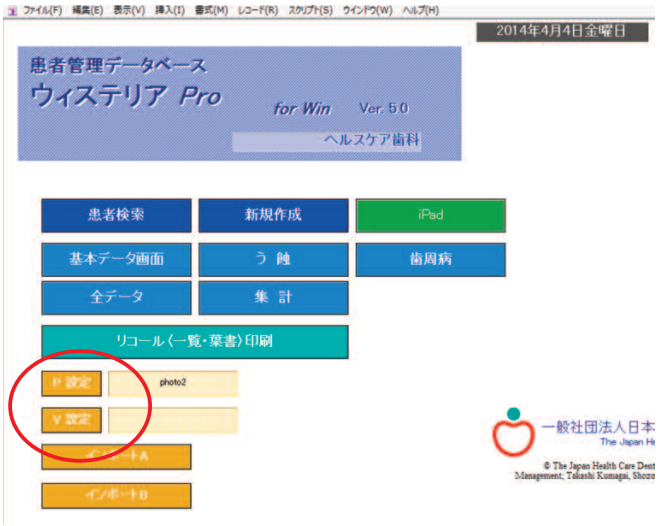
インポート方法の「**新規レコードとして追加**」にチェックを入れ，［インポート］をクリックします．



f-7　「インポートオプション」を確認して（α-6 参照），［インポート］します．

f-8　歯周病のデータを“PerioAssistant5.fmp12”に移します．

ウィステリア 5.0 のメニュー画面のボタン群から，［V 設定］または［P 設定］をクリックして〈初期設定〉画面を表示します．

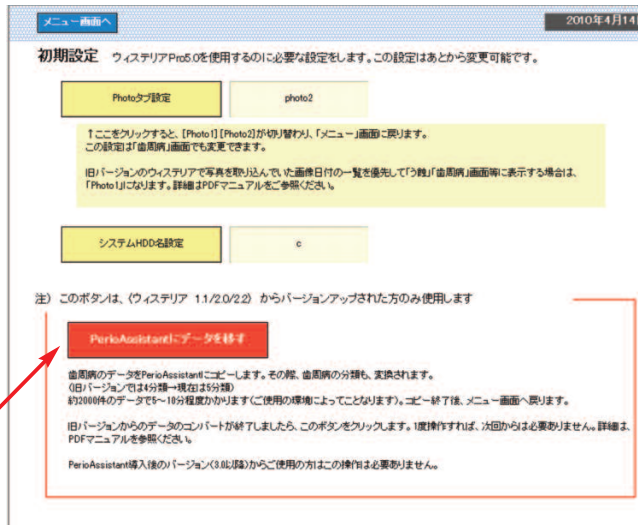


f-9　歯初期設定画面の下段の PerioAssistantにデータを移す ボタンをクリックします．

歯周病のデータを“PerioAssistant5”にコピーします．その際，歯周病の分類も変換されますので，データのインポート後，必ずこの操作を行ってください．この操作は一回のみ実行します．

㊟ このボタン操作はウィステリア 2.2 以前からバージョンアップされた方のみ必要です．

㊟ 初期画設定画面の詳細はウィステリアマニュアル 88 ページ参照



旧データをインポート後，
ここをクリック